

これさえ読めば脱初心者！

株式投資

入門完全

マニュアル

株式投資の経験が全くゼロの方に
向けた基礎中の基礎のマニュアル！

リスクをゼロに近くした、
私のオリジナルのメソッドで

**最速で、一億円を稼ぐ
個人投資家へと導きます。**



目次

はじめに

【第1章】株式投資をはじめる前に知っておくべきこと

- (1) そもそも株ってなに？
- (2) 株式投資が始められる金額は？
- (3) 株式投資で資産運用を行う
- (4) 銀行預金と株式投資の違い
- (5) 株価が上下する理由
- (6) 取引には手数料がかかる
- (7) 取引可能な時間帯
- (8) こんな株に注意
- (9) 短期投資と長期投資の違い

【第2章】株で利益を上げる方法

- (1) 配当金とは
- (2) 株主優待とは
- (3) キャピタルゲインとは
- (4) 生活費には手をださない
- (5) 投資のルールと目標を明確に

【第3章】株の買い方・注文方法

- (1) 成行注文とは
- (2) 指値注文とは

【第4章】銘柄の選び方

- (1) 口コミ情報使い方

- (2) 仕手株に注意
- (3) 何を見れば有益な情報が手に入る？
- (4) お宝銘柄は日常生活にヒントがある
- (5) 自己資本比率をチェック

【第5章】注意して見たい指標

- (1) 出来高とは
- (2) 売買代金とは
- (3) 時価総額とは

【第6章】株価が動く原因は？

- (1) 株価は業績で動く
- (2) ニュースで株価が動く
- (3) 経済指標で株価が動く

- (4) 政治・国際情勢で株価が動く
- (5) 金利と株価との関係
- (6) 証券会社の格付けで株価は動く
- (7) アメリカのNYダウで株価は動く
- (8) 株式分割とは
- (9) 自己株式の取得と消却

【第7章】利益ができたらかちんと税金を

- (1) 株式で儲けた場合の税金
- (2) NISAは税金がかからない

【第8章】その他、知っておくべきこと

- (1) 日経平均株価とは
- (2) インサイダー取引とは
- (3) 外国人投資家とは

おわりに

はじめに

こんにちは、ロジャー堀です。

今回、初心者の方でも簡単に株について理解ができ、なおかつ基礎知識を一瞬で上級者レベルまで引き上げる「株式投資入門完全マニュアル」をご用意しました。

この「株式投資入門完全マニュアル」は、そもそも株ってなんなのか、わからない初級者の方のために作った丁寧なマニュアルです。みなさんに本物の億万長者になって頂くために、まずはこの株式投資入門完全マニュアルを、自分に沁み込ませるように読んで理解してください。

初心者には難しそうだと思うかもしれませんが、この株式投資入門完全マニュアルは一般的に書店に置かれているような、用事の説明などが大量に書かれている入門書とは違います。私が

今まで成功してきた「1億円を稼ぐ個人投資家」に最短で育て上げるためのポイントが詰め込まれています。

最強の「株式投資入門マニュアル」です。

この1冊さえ読めば、基礎的な知識は、上級者レベルにまで最短で駆け上がることができます。これからあなたが、「1億円を稼ぐ、個人投資家育成WEB講座」できちんと成果を出すために必要なことです。

ここで株式投資についてしっかり学び、お金の流れを掴めるようになれば、あなたは最短で1億を稼ぐ人になります。

私が全力でサポートしますので、あなたの夢と一緒に叶えましょう。

【第1章】株式投資をはじめる前に知っておくべきこと

(1) そもそも株ってなに？

企業が会社を大きくする時や、会社をはじめようする時、新しいサービスを行おうとする時など、手元のお金だけでは足りない場合に、資金を調達するための手段として、その企業のオーナー権利を発行しており、それを「株」と呼びます。

企業は、投資家が株を買ってくれたその資金をもとに事業拡大などをすることができるのです。「株を買う」ということは、その企業に出資し、事業資金を提供していることを意味します。

あなたが接している多くの製品は企業が作っています。たとえば、身の回りの物で洋服、テーブル、冷蔵庫、テレビ、文房具・・・といったもの。私たちが使っているシャープペンシル、これは名前の通り東証1部に上場しているシャープが作ったことに由来しています。

けれども、そんなシャープのような大企業でも最初は中小企業の何もないところからスタートしたのです。どんな企業でも最初はお金がないので、株式会社の場合、事業の説明を行って投資家からお金を集め事業を行うのです。

その代わりに、会社はお金を出してくれた投資家に対して、毎年利益の一部を株主に「配当金」や「優待」といった形で利益の一部を還元してくれるのです。

あなたは、このように将来利益が大きくなると予想した会社の株を買って出資し、配当金を毎年もらったり、大きくなった企業の株を売却することで利益を得ることができるのです！

〈Roger's Point〉

投資家にとっては会社のオーナーの1人になること。

会社にとっては事業を始めるためのお金を集めることができる。

(2) 株式投資が始められる金額は？

株式投資を始めるのに必要な金額は購入する銘柄の株価によって異なります。

株価が安い銘柄は1万程度で購入できますが、高いものだと数十万、数百万必要な銘柄もあります。

例えば、三井住友建設の株価は100円台です。

約1万3000円程度あれば購入できます。

はじめて株式投資を行うのは誰しも緊張するものです。そこで、三井住友建設のように100円台の株から投資を始めるのが株式の取引の練習にもなりますし、倒産リスクも少ないため株式投資のきっかけとしては入りやすいとされています。

次に、テレビ朝日ホールディングスです。

テレビ朝日ホールディングスは、1単元が100株となっていますので、株価1864円で購入した場合18万6400円となります。

最低購入価格について、三井住友建設と比較するとずいぶん変わりましたね。

このように銘柄によって、購入代金は、数万円で購入できるものから数十万円かかるものまで数多くあるので購入するときはご自身の投資額と相談して取引をしてください。

〈Roger's Point〉

- ・ 購入する銘柄の株価によって異なる
- ・ 「現在の株価」 × 「購入株数」 + 「証券会社の手数料」 が必要
- ・ 安い銘柄なら1万円程度あれば取引ができるが、数十万円必要な銘柄もある

(3) 株式投資で資産運用を行う

あなたは、将来の漠然とした不安を感じてはいませんか。
住宅ローンや老後の生活資金などまだまだ多くのお金が必要で、
将来に向けていまのままではお金が足りないと感じている方も
少なくないと思います。そんな、将来のお金に対する不安を和
らげる手段として資産運用があります。

資産運用のひとつとして大きな注目を集めているのが株式投資
です。株式投資の場合、大きく分けて2つのメリットがありま
す。

まず、株を保持していることで得られる安定的な収益です。優
待や、配当金などがこれにあたります。

次に、値上がり益による収益です。投資した会社の業績が良
くなると、その会社の規模も大きくなります。株価もそれに応
じて100円から200円へと大きくなっていきます。

上記の2つを利用することで、うまくいけば資産を形成することができます。

初心者が上手に運用し資産を得ることは容易ではありません。

しかし基礎知識と株式取引の基本を押さえておけば、初心者でもきちんと資産を作ることが可能です。最初は少し面倒かもしれませんが今からしっかり知識を身につけていきましょう。

〈Roger's Point〉

- ・株主優待や、配当金などの「安定的な投資方法」と、値上がり益を狙う「積極的な投資方法」の2つがある。
- ・基礎知識がなければ長期で資産を増やすことはできない

(4) 銀行預金と株式投資の違い

銀行預金と株式投資の大きな違いは、大きく2つあります。

1. 元本が保証されるかされないか
2. 利回り

銀行預金は、銀行が破綻した場合、預金保険機構が1000万円までの元本とその利息を保護してくれます。

一方、株式投資の場合、投資した企業が倒産しても元本が保証されないため、投資金額がゼロになるリスクがあります。

多くの方は、これだけ聞くことが多いから株式投資は怖いと思う人が多いのだと思います。しかし、株式投資はその半面、投資した企業が大成功すれば株価は2倍3倍・・・10倍となることも珍しくありません。

また、投資した企業が半年や1年ごとに「配当金」というものをくれることがあります。

この「配当金」は銀行で言う金利と同じようなもので、例えば100万円をみずほ銀行に銀行預金として預けても1年間で250円（0.025%）、20年で4761円にしかならないのです。

一方、同じお金をみずほフィナンシャルグループ(8411)に株式投資した場合、1年間で3万5000円（3.5%）の配当金をもらうことができます。単純計算すると20年でなんと70万円にもなるのです。

これが株式投資の魅力のひとつとも言えます。

〈Roger's Point〉

- ・ 銀行預金の金利では資産は増えない
- ・ 株式投資は株価が上昇すると、資産を増やすことができる
- ・ 配当金の利率（利回り）が銀行よりも良い企業が多い

(5) 株価が上下する理由

よくニュースなどで日経平均株価がいくら変動しましたという話を耳にしますが、実際に株価ってどのように変動しているのかが分かりにくいと感じられている方が多いと思います。

インターネットが普及した今、クリックひとつで売買ができるので実感することは難しいと思いますが、株価は、食べ物や衣服と同じで、買い手と売り手がいてはじめて売買が成立します。

例えば、「りんご」を例に説明すると、豊作の年や収穫時期は市場にりんごが多く出回るので、りんごを欲しいと思っている「買い手」よりもりんごを売りたいと思っている「売り手」のほうが多くなり、「売り手」は自分もっているりんごが腐る前に値下げをしてでも売りたいと思うので値段がさがっていきます。

逆に、収穫時期でない場合や凶作の場合には、買い手よりも売り手のほうが少なくなるので、どうしてもりんごを手に入れた

い人は、高い金額を払ってでも買い取ってくれるのでりんごの値段はあがっていきます。

これと同じで、株の値段も買い手と売り手の需要と供給で値段が決まります。株式市場とは、りんごの例で例えると青果市場のようなもので、その市場には毎日世界中の人が訪れて、各企業の株を物色して売り買いしていると考えるとわかりやすいと思います。

株価は様々な理由で変動します。その中でいくつか変動しやすい要因を解説していきます。

まず、株価が変動する一番大きい要因は、会社の通信簿にあたる業績の変化です。業績が良くなれば株価は上がります。一方、業績が悪くなれば株価は下落します。

この通信簿をみなさんが見る手段として決算書があるのです。株式会社は四半期（3か月）ごとに公表することが義務付けら

れており、この発表された成績によって株価が上昇したり、下落したりするのです。

もう1つの株価が動く大きな要因は株式の需給バランスの変化です。株式を買いたいという人と株式を売りたいという人のバランスで株価は釣り合いが保たれているのです。

この株価が変動する要因として、会社のことを各メディアが視聴者に伝えることで、「この会社はこんな面白い事業やっているから買ったらおもしろいな」と思った人達が多くいれば、株価が大きく買われるケースもあります。反対に、悪いニュースが出た場合、株価は下落するケースが多いです。

〈Roger's Point〉

- ・業績の良し悪しによって変動する
- ・株式の需給によって変動する（買う人が多いと上昇する、売る人が多い下降する）

(6) 取引には手数料がかかる

株式の売買を行うときは、証券会社に支払う手数料が発生します。

この取引手数料は、証券会社ごとに手数料が異なるのですが、

その理由は、

- ・ 営業マンが取引をサポートする大手証券
- ・ 昔ながらのコールセンターに電話をして取引を受付する証券会社
- ・ インターネットを使ってご自身で取引するだけの、ネット証券会社

というように証券会社にも様々な種類があり、それぞれにかかる費用も違うので自然と手数料もかわってくるのです。

証券会社は、上記のように顧客からの注文の受け付け方は違えど、売買を行うとき、証券会社は「買い手」と「売り手」の双方から注文を受けているいろいろな手続を行うため、その手数料をとっています。

ネット証券と大手証券とで比較した場合、ネット証券の方が取引手数料は圧倒的に”おトク”なのです。その秘密は、大手証券の場合、顧客ごとに担当のアドバイザー（扱者）がつくのですが、ネット証券の場合はサポートセンターのみで基本的には顧客が自分で調査した銘柄を取引するため、大手証券に比べてかなりコストを抑えることができています。

例として、ネット証券大手のSBI証券と、日本証券会社最大手の野村証券との間で手数料を比較すると100万円に相当分の株を購入した場合

野村証券店頭価格　：1万1967円

S B I 証券 ： 5 2 5 円

という風に、ネット証券の方が断然オトクになっています。
手数料を低く抑えたいという場合には、ネット証券が非常に人気です。

ネット証券会社にも様々な証券会社があるので、じっくり吟味してあなたに合う証券会社を見つけてみてください。

〈Roger's Point〉

- ・ 株式取引には、手数料が発生する
- ・ 手数料は、証券会社によって違うので注意する

(7) 取引可能な時間帯

会社にも就業時間などがあるように、株式取引にも取引時間があります。

相場の変動を予期した際に先手を打つため、この取引時間を把握しておく必要があります。

例えば、朝の通勤中に新聞やニュースなど「ウクライナ情勢が不安」という情報を得た場合、取引時間が始まる前に売り注文を出しておこう、などの対策が立てられるようになります。これから株式投資をはじめようとしているなら、是非この「取引時間」を知っておいてください。

取引時間は証券取引所によって異なります。

東証の取引時間は前場(午前中の取引の時間)が 9:00 - 11:30 まで。

後場(午前中の取引の時間)が 12:30 - 15:00 までとなっています。

取引で一番注意してほしいのは、寄り付き(前場が始まる時)と大引け(後場が終わる時)前です。この時間は一番株価が動きやすい傾向なので取引時間と一緒に覚えましょう。

〈Roger's Point〉

- ・ 東証・JASDAQ 前場9:00-11:30 後場12:30-15:00
- ・ 名証・セントレックス 前場9:00-11:30 後場12:30-15:30
- ・ 寄り付きと大引け前は一番株価が動きやすい傾向

(8) こんな株に注意

株式投資を始める前に注意していただきたい銘柄は2つあります。

- ① 「100円を割りこんだ銘柄」
- ② 「社名を2回も3回も変えたことがある銘柄」

まず、①「100円を割り込んだ銘柄」について説明していきます。

① の主な理由は、株式市場では倒産リスクをはらんでおり、株価が乱高下しやすいと言われているからです。

極端な話、100円を割り込んだ株はあした倒産してもおかしくないものと株式市場では判断されています。そのため、購入時は、この点を注意して購入する必要があるのです。

次に、②「社名を2回も、3回も変更している銘柄」については注意が必要です。

単純に会社が合併したことによって変更した例もありますが、中には、事業が低迷していることを隠すために社名変更した事例も数多くあるのです。

特に100円を割り込んでいる銘柄で、社名を複数回変更している銘柄は特に注意が必要です。

ネット証券でも、社名変更を行った場合は取引注意情報に社名変更の注意書きが上がってきますが、情報が更新されると古い情報が消えてしまうこともあります。気になったら、四季報で

確認するか、直接会社のホームページに飛んで社名を確認するのが無難です。

〈Roger's Point〉

銘柄についてはきちんと調べて安全なものを選ぶ

(9) 短期投資と長期投資の違い

株式投資の大きなメリットは、安い時に買って高くなったら売却すれば利益を得ることです。株式投資を思い描く方は誰もが想像していることではないでしょうか。

このような形で、値上がりして儲けるのには2つの視点があります。

1つ目は自分が目標としている株価まで値上がりしたら、すぐに売却する投資法です。

これが「短期投資」です。

早い人では買ったその日のうちに売却、遅くても1年以内に売却する投資法です。

短期投資のポイントは「100円上がったら売る」などの明確な目標価格を設定することです。

もう1つは自分が興味のある会社を見つけます。この会社だったら5年後、10年後には、会社の規模が大きくなって会社の利益が10倍、もしかしたら100倍と大きくなることを期待して買う投資方法が、長期投資です。

理論上会社の利益が大きくなれば同様に株価は大きくなります。これが長期投資の醍醐味です。

これからセブンイレブンを例に長期投資のメリットについて説明していきます。

セブンイレブンは今では日本を代表する大企業に成長していますが、約40年前は誰も知らないお店の1つでした。

スーパーをコンパクトにしただけのようなセブンイレブンに当時投資をできるでしょうか？

もしその時に、あなたは「この日常に必要なものだけを効率よく配置しているから、今後日本人の生活に馴染むよな」などと想像して、将来の成長することを期待してお金を投資するのです。

これが長期投資です。

銀行が財務内容を見てお金を貸し出す感覚と同じですね。

しかも株式投資は将来の成長期待に対して投資するもので、5年後、10年後に利益が100倍になれば株価も連動して上昇します。セブンアイホールディングスは2014年で時価総額が約3兆8000億円を誇っています。

もしあなたが当時セブンイレブンに投資していれば、億万長者になれたかもしれません。

長期投資を行う視点は、将来会社の規模が大きくなるかどうかで購入するのがポイントです。

〈Roger's Point〉

- ・短期投資は値上がりしたらすぐに売却する手法で、短期で値上がりする銘柄を見つけられるかと、売り時を逃さないことがポイント

- ・長期投資は将来の成長を予測し値上がりを待つ手法で、長期的な成長を予測できるかがポイント

【第2章】株で利益を上げる方法

(1) 配当金とは

配当とは、「会社が得た利益の一部を、株主へ支払うもの」です。

株主とは、お金が足りない企業に対してお金を投資する人や企業のことをいいます。

事業がうまくいったお礼として、利益の一部を還元する行為が配当です。

日本の場合、配当は年に1回または2回実施する企業が大多数となっています。

その配当を実施している企業の平均的な配当金は約2%前後で推移しています。

そんな中、銀行に株式投資を行った場合、配当金は3%近く獲得できるものか多くあります。

〈Roger's Point〉

- ・ 配当とは会社が得た利益の一部を株主へ支払うもの
- ・ 日本の平均的な配当は年2%前後
- ・ 配当は年に1回か2回

(2) 株主優待とは

株主優待とは株式を長期的に保有している株主に、「株式を持ってくれてありがとう」という感謝の気持ちを込めて、配当金とは別に「企業の自社製品やサービスなど」などを提供するものです。

この‘株主優待’は各社によって異なり、金券を配るところもあれば、自社のサービスの提供、お米などの現物支給など各社様々です。

また、優待は、現在約1,000社程度が導入しており、配当金同様に安定的な収益となることから、大きな注目を集めています。

さらに、優待内容は株式の保有株数などによっても異なり、保有数が多いほどより充実した優待を受けられる企業もあります。

具体的にはどのような“優待”があるのでしょうか。例えば、ANAホールディングスは、非常に豪華で、自社の航空サービスの割引はもちろん、グループの優待券として、自社ホテル優待や国内・海外パッケージツアー優待、空港内売店での買物優待に、ゴルフプレー料金の割引優待がそれぞれ複数枚もらえます。

また、日本マクドナルドホールディングスは、毎年6月と12月に保有株数に応じて、優待食事券が贈呈されます。優待食事券は、バーガー類引換券・サイドメニュー引換券・ドリンク引換券の3枚がそれぞれ切り離し可能となっており、マクドナルドに立ち寄る際に重宝します。

〈Roger's Point〉

- ・企業が株主に配当金とは別に品物やサービスを提供したりする制度

- ・優待を実施している企業は約1,000社程度
- ・優待内容は株の保有数に応じて変わる

(3) キャピタルゲインとは

キャピタルゲインとは、株式などの保有していた資産が値上がりしたことによって得られる収益です。

株価が安い時点で購入して、値上がりした時点で売却し、そこで確定させれば利益を得ることが出来るのです。ちなみに、値下がりした場合のことをキャピタルロスといいます。

このキャピタルゲインはバブル期の日本では大きな注目を集め多くの方が恩恵を享受しました。最近では、アベノミクスがその例です。民主党政権の失策で一時7,000円台まで低迷した株

価は、14年9月には1万5,000円台まで回復を遂げています。
この象徴的な出来事をアベノミクスというのです。

次のキャピタルゲインの狙い目は、2020年の東京五輪がターゲットだといわれています。あなたも投資の焦点を2020年に絞ってみてはどうでしょうか。

〈Roger's Point〉

キャピタルゲイン（値上がり益）＝保有していた資産が値上がりしたことによって得られる収益

（4）生活費には手をださない

株式投資で勝利するための大原則は、余裕資金で行うことです。
株価は常に変動しており、購入した時点よりも株価が下がることもあります。

このため、生活費で株式投資を行うことは、絶対に行ってはいけません。

必ず余裕資金で行ってください。

もしも、あなたが生活費の一部を投資に使ったとします。

その後いざお金が必要になったときに、損失を承知で株式を売却しないといけないかもしれません。このような事態を防止するために株式投資は余裕資金で行うという鉄則があるのです。

今後、日本は団塊世代の人の対象退職を背景に退職金などの資産運用がますます高まりを見せることが予想されます。

ただし、退職金全部を投資することは、プレッシャーが高まり損失を出した時など特に「なんとか取り戻さなければ」という衝動に駆られ、正常な判断ができなくなるケースも多いようです。

株式投資の鉄則の一つは、心にゆとりを持つことです。

株式投資は最も投資効率がよいと言われている商品ですので、あせらず正常な状態で正しい判断を行うことが重要なのです。

〈Roger's Point〉

- ・ 株式投資を行う場合必ず余裕資金で行うこと
- ・ 生活費と切り離すことで、心にゆとりができ正しい判断ができる

(5) 投資のルールと目標を明確に

株式投資について、資産の投資方法は「投資期間」や、「投資金額」、「投資スタンス」などによって、大きく変わってきます。例えば、短期投資などの値動きを狙うデイトレーダーと、退職金を運用し、しかも投資目的が配当金などを狙う長期投資とでは根本的に投資スタンスが異なってきます。その中で、必ずやっておいてほしいことは、自分目標をしっかりと立ててお

くことが重要となってきます。今回は長期運用を行う投資家の事例を例に投資目標の立て方について説明していきます。

年金資産などで配当金を目当てに運用を考えている人については、あまり短期的な値下がりやを過剰に意識する必要はありません。

安定銘柄と呼ばれる大型銘柄（老舗企業の株）の場合、年間20%前後の値動きで推移している場合が多いため、その半分の10%程度値下がりした場合、さらなる大きな傷を被らないためにも損切りする(損失を承知で株式を売却する)ルールを作っておく。

一方、長期運用といえども、ある程度株価が上昇したら一度利益確定のためいったん売却を行うと資金効率の観点からもよいといわれていますので、20%上昇したら売却するなどのルールを作っておくとよいでしょう。

日本の配当利回りは2%程度ですから、その4倍にあたる8%上昇したら売却を行えば、配当利回りの4倍の利益が手に入るの
で4年分の利回りを手に入れたら売却するというルールでもい
いかもかもしれません。

〈Roger's Point〉

自分ルールと目標を決める（目標株価、損切株価など）

例：利益の場合、10%上がったら利益確定

損失の場合、10%下がったら損切

【第3章】株の買い方・注文方法

(1) 成行注文とは

成行注文とは、売買を行うときに、値段を指定せずに注文することをいいます。つまり、成行売り注文をした場合は、そのときに一番高く買い注文していた人と売買が成立し、成行買い注文をした場合は一番安く売り注文していた人と売買が成立します。

メリットは・・・注文さえ出せばすぐに関ったり売ったりできる

デメリットは・・・想定外の株価で取引が成立する可能性がある

〈Roger's Point〉

時間優先の注文方法

(2) 指値注文とは

指値注文の特徴は、自分の入手したい価格を指定して購入する
売買方法です。この売買注文は自分が欲しい価格で購入する
ときに使われるものです。

メリットは・・・希望した価格で買ったり売ったりできる

デメリットは・・・株価が希望した価格でなければ、売買できな
いので、売買のチャンスを逃すことがある

〈Roger's Point〉

株価優先の注文方法

【第4章】 銘柄の選び方

(1) 口コミ情報の使い方

株式投資では銘柄の選び方が重要です。

どのような情報を信用して銘柄を選べばよいのでしょうか？

ここでは株式投資の情報収集の方法と注意するポイントをご紹介します。

インターネットではクチコミの情報が多く存在しますが、あくまで口コミですのでその情報が正しいかは保障されていません。株式の売買の判断に使う際は注意しなくてはなりません。

一方、新商品の情報などをブログや掲示板などで評価しているサイトは参考になるかもしれません。

なぜなら、このような新商品の評価をした情報は今後の会社のヒット商品となる可能性を秘めています。

また、この手の情報はアナリストとは違う視点で企業の新たな側面を評価したものとなりますのでぜひ参考にするとよいでしょう。

あなた自身のお気に入りの商品を作っている会社にも注目してみることも、良い銘柄を見つけるヒントになるかもしれません。

例：この会社の新商品のアイスがおいしい

新しくリリースされたスマホアプリが使いやすい

この会社の新薬が優れている

また、自身の売買の参考にしたい場合、上場会社の多くはIR課というものがあり投資家に分かりやすく説明する部署もあります。

新商品の情報について詳しく把握できたものが、今後そのヒット商品が会社の業績を左右するものとなれば、当然株価は上昇します。

また、独自の情報となることから、新製品のクチコミ情報などが気になった場合問い合わせれば売買の参考にもなります。

ただ、口コミ情報には真偽が分からないものも数多くあり、上記のようにIR課に問い合わせてみるか、それでも分からない場合は購入を行わないのが無難でしょう。

〈Roger's Point〉

- ・新商品の情報は今後のヒット商品になる可能性も秘めている
- ・売買の参考にしたい場合、会社のIR課に問い合わせてみる
- ・口コミ情報を信じるかは自己責任

(2) 仕手株に注意

仕手株とは、巨額の投資資金を武器に銘柄の価格などを意図的に操作されている銘柄のことをいいます。これを操る人のことを“仕手筋”と言います。

この仕手株を一般の投資家が判断することはとても困難とされています。このように利益を上げる人たちは、株式をまず買い占めてから相場を吊り上げます。

ただし、買い占める際は、一気に行うのではなく少しずつ行って買い占めることから仕手筋が買い占めているかどうかは判別が付きにくいものです。

多くの初心者がこれを知らずに手を出してしまい大やけどをしてしまうケースが多いようです。

とは言っても仕手株がどのようなものかは株式初心者には判別がつかないと思います。

そこでいくつか一般的な仕手株の特徴についてまとめてみました。

- ① 倒産リスクが高いとされる100円以下の銘柄
- ② 過去に急激な暴騰と暴落を繰り返している銘柄

③ 業績が悪かったり、売買に人気のない株式であってもある
とき急に出来高が急騰する

などの特徴があります。これだけ言われてもよくわからないと
思います。そこで、最近に仕手株が相場を形成した有名な銘柄
についていくつか紹介しますので今後の売買の参考にしてくだ
さい。

- ・ 日本カーバイド工業(相場形成時期2013年7月)
- ・ ナイガイ(相場形成時期2013年11月)
- ・ 保土谷化学工業(相場形成時期2013年11月)

出所：SBI証券

日本カーバイド工業は、2013年7月に決算やニュースなどの
報道もなく突如株価が急騰しました。このように仕手株はある
とき突如株価が大きく上昇します。

これらの詳しい最新情報に興味がある場合、株式経済新聞が毎
日最新の情報を公開似ていますのでご参考にしてください。

〈Roger's Point〉

・仕手株とは、巨額の投資資金を武器に銘柄の価格などを意図的に操作された銘柄

(3) 何を見れば有益な情報が手に入る？

株式の有益とされる情報は世の中に溢れかえっています。

ただし、株式を始めたばかりの初心者にはどの情報が有益な情報なのかなかなか判断がつかない人が多いようです。

それだけ個人投資家が無料の有益な情報を提供した株式の情報サイトを見つけるのは難しいのかもしれませんが。今回は、初心者でもわかりやすく、参考になるサイトをいくつかご紹介します。

①みんなかぶ個人投資家予想

みんなかぶのユーザー達が今の株価が高いか安いかを判断を行っています。

また、株式経済新聞のニュースや、証券会社のレーティングを配信しているメルトレなどのコンテンツがあります。

②株式経済新聞

株式の情報提供に特化した株の専門新聞です。

電子新聞の提供以外に、株式の情報を配信も行っており機関投資家、個人投資家を問わず広く評価されています。

③ヤフー株価予想

ヤフー株価予想は株式の分析や売買のプロたちが無料でヤフーファイナンスの株価予想で最新の情報を提供しているのでプロの投資家の意見を確認するのは売買の際、勉強になります。

④ロイター通信社

世界のロイター通信社が提供する株式ニュースや国際情報は主力株式の情報を見る際、役に立ちます。

⑤日本経済新聞

日本の株式市場に対して最も影響力が強いと言われている情報誌。新聞だけでなく、実は配信の方も手掛けています。速報などで情報をチェックすれば売買の際の大きな参考となります。

⑥朝日新聞デジタルの東洋経済兜町特捜班

朝日新聞のサイト上の経済欄の箇所にひっそりと存在している東洋経済兜町特捜班の記事です。朝日新聞デジタルの独自のコンテンツとして株式の情報を提供しているので株式になれば参考にしてみるのもいいかもしれません。

〈Roger's Point〉

- ・ 個人投資家の売買予想をチェック

- ・ 株式経済新聞等のニュースサイトで株式のニュースをチェック
- ・ ヤフー株価予想などプロの投資家が無料で評価したサイトも参考までにチェック

(4) お宝銘柄は日常生活にヒントがある

株式の売買を行うにあたって、ぜひ参考にしたいのは自分の日常生活です。

これは、初めて聞く人はとても意外のように感じられるかもしれませんが、毎日使っている商品の多くは上場会社が売り出している商品です。

あなたが日常で接している多くの商品は会社の看板商品だったりします。

この何気ない日用品が会社の業績を大きく向上させることもあるのです。

これからキッコーマンが2010年に発売した「いつでも新鮮」シリーズのしょうゆを例にヒット商品が与える業績への影響についてふれていきたいと思います。

「いつでも新鮮」シリーズのしょうゆは空気の入らない特殊な容器でしょうゆの劣化を防ぐという画期的な商品で、実際に使った利用者がリピートなどにより販売数が順調に拡大。大ヒットを記録しています。

キッコーマンによれば、「14年3月期は好調に推移しており、しょうゆ事業全体の売上高450億円の10%（45億円）を「いつでも新鮮」シリーズが占めていました。

また、2015年3月期は『いつでも新鮮』シリーズの売上高55億円を計画しています」としています。「いつでも新鮮」シリ

ーズの売上高のキックマンの業績へ占める割合が拡大しているのが分かります。

このように、毎日のあなたが目にしているヒット商品が会社の業績に影響を与えることは数多くあります。あなたの身の回りにも、ヒット商品がきっとあるはずです。投資する銘柄選びの一つの判断材料としてみてください。

〈Roger's Point〉

- ・よい会社の見つけ方は、株式市場よりも日常生活の方が見つけやすい
 - ・ヒット商品になりそうなものが見つかった場合その企業を調べる

(5) 自己資本比率をチェック

会社は現金や預金、在庫、建物など実に多くの資産を保有しています。

自己資本比率とはこうした資産のうちの株主の資産の割合を示しています。

自己資本比率は一般的に高ければ高いほど健全だと言われており、60%以上が一つの目安です。

ただし、この指標は業種などによっても異なってきます。

例えば一度の工事に多くの資金が必要な建設業では、自己資本費比率は他の業種などと比較して低くなっています。判断する場合は同業他社と比較して相対的に低いかどうか見る必要があります。

- ・金融業とベンチャー企業は単純に自己資本比率で見るべきではない

その中でも顕著に自己資本比率が低いのは金融業。

その主な理由は、お金を運用するのが主な事業で手元に資金を置いていない為です。

もうひとつ例外があります。それはベンチャー企業です。

一般的に設立して間もない企業と、40年も50年も事業を行ってきた企業とでは、積み上げてきた過去の資産が全く違ってきます。自己資本比率はベンチャー企業の方が低い傾向にあります。

- ・業績に悪化に伴う自己資本比率の低下は要注意

金融業やベンチャー企業などの例外は紹介しましたが、一般的に自己資本比率が低い企業は業績が危ないケースが高いのが事実です。

その中で最も警戒してほしいのが業績の悪化に伴う自己資本比率の低下は警戒してほしい事象です。

その顕著な例はスカイマークです。

2014年7末に発表した15年3月期第1四半期の決算です。

同社の最終損益は57億9,500万円の赤字（前年同期実績12億4,100万円の赤字）と赤字幅を拡大させています。第一四半期だけで5%自己資本比率が低下、49.6%（同56.2%）まで悪化しています。このような事例の場合購入は注意が必要です。

〈Roger's Point〉

- ・ 自己資本比率は高ければ高いほど健全（一般的には60%以上)
- ・ 金融業は自己資本比率が他業種と比べて低くても健全
- ・ ベンチャー企業の自己資本比率は一般的に低い
- ・ 業績の悪化に伴う自己資本比率の低下は要注意

【第5章】注意して見たい指標

(1) 出来高とは

出来高とは、株式の売買が成立した株数のことをいいます。

この出来高とは、その株式の人気度を示しており、売買を行う際の参考となります。

一般的に人気の高い銘柄は出来高ベースで見た場合、東証1部に名を連ねているものが多くなっています。

たとえば、みずほフィナンシャルグループの場合、1日およそ1,000万株程度の売買があります。このように出来高はその会社の人気度を示しており、多くの場合売買の参考にされています。

出来高について、東証1部の銘柄が多い傾向ですが、出来高が急増するケースがあります。それは会社の業績が前年よりも良かった場合や、会社の不正や業績悪化が明らかになった場合、何らかの思惑、仕手株など、いくつかの理由がありますので売買を行うときは注意して見てみてください。

〈Roger's Point〉

- ・ 「出来高」とは売買が成立した株数のこと
- ・ 今後の相場の動きを掴むのに重要な指標のひとつ
- ・ 出来高は東証1部の銘柄が多い傾向にある
- ・ 出来高がいきなり増えることがある（例、好業績、会社の不正、思惑、仕手株など）

(2) 売買代金とは

売買代金とは、株式市場で売買が成立した金額のことを言います。

売買代金は東証全体の取引が活発に行われているかどうかの判断基準にもなります。

取引が活発に行われているかどうかの基準は2兆円だと言われています。

ただし、この基準について、季節要因などもあるためあくまでも目安です。

個別銘柄で見た場合、売買代金の大きい銘柄はそれだけ市場からの注目度が大きいことの裏付けとなります。

一般的には東証1部の銘柄が売買代金の上位の常連となっています。

売買代金は基本的には会社の人気度を示していますが、突如何かの拍子に上昇することがあります。売買代金が突如上昇する銘柄の多くは、株価も同時に上昇するケースが多いのでニュー

スなどに注意してみてください。ライフスタイルに合わせた優待銘柄に投資した場合、運用益とは別の楽しみが得られます。

〈Roger's Point〉

- ・ 「売買代金」とは、株式市場で売買が成立した金額
- ・ 市場全体について
- ・ 東証全体では、市場全体の取引が活況かどうか判断できる
(2兆円が目安)
- ・ 個別銘柄について
- ・ 売買代金が多い銘柄は市場からの注目度が高い
- ・ 出来高同様に売買代金が急増したときは注意が必要

(3) 時価総額とは

時価総額とはある上場会社の価値をある地点で評価した場合、どのくらいの金額になっているのかを表しているものです。こ

の時価総額は、企業の実力の一部に過ぎませんが、その企業の成長性や市場の期待値などによっても大きく変わってきます。一般的にその会社の利益や資産が多いほど時価総額はそれに応じて大きくなる傾向にあります。

〈Roger's Point〉

- ・ 「時価総額」とは会社の企業価値を表したもの
- ・ 会社の成長性や市場の期待値が分かる

【第6章】 株価が動く原因は？

(1) 株価は業績で動く

株価が動く主な要因は会社の業績です。

業績は会社がどれくらいの儲けをだしたかが分かるものです。

業績が良ければ、「株価が上がる」ということが判断できます。

逆に、業績が悪化した場合、「株価が下がる」と判断できます。

このようにして業績は株価に反映されているのです。

投資家が会社の業績を知る手段は決算書や、日本経済新聞、インターネット、四季報などがあります。これらの情報の元になっているのは決算です。決算で業績を把握することにより、これからその会社の株を買うべきかどうか、すでに保有している株については売るべきかどうか判断できるのです。

〈Roger's Point〉

・業績がよければ株が買われ株価が上昇し、悪ければ売られ株価は下落する傾向がある

(2) ニュースで株価が動く

新聞やテレビなどのニュースで、ある企業のよいニュースが報道された場合、株価が上昇します。逆にスクープなどで悪いニュースが報道された場合、株価が下落します。

例えば、ソフトバンクが新技術を開発したとか、トヨタ自動車の利益が、市場が予想していた額を上回る利益が発生したことがニュースによって明らかになった場合、翌日の株価が上昇するというケースです。

株式投資を行う人全体に影響を与えている媒体は、日本経済新聞です。

株価に対して最も影響力のある新聞だと言われています。

例えば、日経新聞の1面で報道された場合、株価が大きな影響を与える力を持っています。

つまり、ニュースなどで報道されると一般の投資家と、企業との距離が近くなり購入者側にとって株価購入の判断材料が増えるといわれています。

一方、スクープなどによって悪い内容が明らかになった場合、株価は下落することもあります。

〈Roger's Point〉

- ・よいニュースなら株が買われ株価が上昇し、悪いニュースなら売られ株価は下落する傾向がある

(3) 経済指標で株価が動く

経済指標とは、政府などが定期的に発表する国の経常収支、財政状況、物価の状態などを数値化したものです。

経済指標は、その国の経済状況などを把握する有力な手段となっています。

この指標はその国の先行きなどを把握する大きな判断材料となっており、その指標が良ければ買われ、悪ければ売られる要因となります。

代表的な経済指標を挙げます。

- ・ 経済指標：国内総生産（GDP）

公表機関：内閣府

公表時期：年に4回

- ・ 経済指標：完全失業率

公表機関：総務省

公表時期：毎月

国内総生産（GDP）を例に説明していきます。国内総生産とは、その国で生産されたものの総額のことを言います。日本の場合、日本国内でどれだけのモノやサービスが生まれたのかを示しています。この数字が前年と比較して良ければ、株価は上昇します。逆に、悪かった場合、株価が下落する要因となります。

〈Roger's Point〉

- ・ 経済指標の発表で株価が動く（国内総生産、完全失業率など）

（４）政治・国際情勢で株価が動く

政治や国際情勢は、一見すると株価に関係ないと思われがちですが、国際情勢の変化により株価は大きく左右されます。

例えば、ロシアがウクライナのクリミア地域を併合したことをきっかけに、国際情勢が悪化し、株価は下落しました。他にも、シリア情勢、イラク情勢の悪化などによっても株価は大きく動いた過去もあり、国際情勢を無視することはできません。

この主な理由は、経済が世界中でつながっているからです。日本の場合、石油資源の多くを中東に頼っています。その中東で紛争が起こった場合、その資源を輸入する日本の経済に対して大きな影響を及ぼす可能性が高まるのです。

過去には2001年の9月11日にアメリカで同時多発テロ事件が発生したことにより、株価は大きく下落しました。この事件は、世界の金融の中心地であるニューヨークで発生したことから、NYダウは大きく値を下げました。また、これを受け翌日（日

本時間12日) の日経平均株価は600円を超える下落幅を記録しました。

2011年の3月11日に東日本大震災が発生により大きな影響を株式市場は受けました。この時は、民主党の対応の遅れなども影響し、東京電力で原発事故による放射能漏れが起こりました。この影響によって、3月15日には日経平均株価は前日比1015円下落の8605円で取引を終えています。東日本大震災は日本の事象でしたが、情勢の変化によって株価は影響を受けますので、世界を動かす大きな出来事については注意しましょう。

〈Roger's Point〉

- ・ 戦争や紛争などによって影響を受ける (例、クリミア併合、米同時多発テロなど)
- ・ 経済情勢の変化などによって影響を受ける (例、リーマンショック、東日本大震災など)

(5) 金利と株価との関係

株価と金利には密接な関係があります。

一般的に、長期金利が下落した場合、株価は上昇します。

長期金利とは取引期間が1年を超える債権などの金利をいい、例えば長期金利が3%から0.5%に下落した場合、投資家は、定期預金などに預けておくよりも株式に投資を行った方が有利だと考えます。

このため、長期金利が下落した場合、株価は上昇します。皆さんは、金利が下落したときは、株式の買い時になりやすいと覚えておけば他の投資家よりも一歩先をゆくことができます。

一方、長期金利が上昇した場合は、どうなるでしょうか。

例えば、長期金利が2%から5%に上がった場合、投資家の多くが、リスクの大きい株式投資を行うよりも銀行などに定期預金を行った方が安全で、しっかりと儲けられると考えます。このため、長期金利が上昇した場合は、株価が下落するといわれています。

このように長期金利が下落した場合、株価は上がります。逆に長期金利が上昇した場合、株価が下落するのです。

〈Roger's Point〉

- ・一般的に長期金利が下落すると株価は上昇し、上昇すると株価は下落する

(6) 証券会社等の格付けで株価は動く

証券会社の中には、証券アナリストが個別に調査・分析を行った上で、買いや売りなどの格付けを行っています。

格付けの評価方法は、各証券会社によって異なります。

例えば、SMBC日興証券の場合は、「1」、「2」、「3」で評価します。

SMBC日興証券が投資判断を「2」から「1」に引き上げた場合、株価は上昇します。

ちなみに、ある証券会社が格付けを引き上げた場合、その証券会社の利害関係人を意識したものとか、逆に格付けを引き下げた場合、証券会社が安値で株式を購入するために格付けを引き下げたとかの俗説も多くあります。

おそらく、アナリストレポートによる株価への影響は機関投資家などに配られた翌日には株価に織り込まれるケースが多く一

般の投資家が入手したころには、すでに売り時だったことなどから、俗説が出回ったのだと思います。

アナリストが作成するレポートは基本的に会社が四半期ごとに発表する決算などに基づいて、作成することが多いです。

このため、もしあなたがアナリストレポートよりも早く情報が知りたい場合、先に決算書を読むか、日経新聞の企業欄、株式経済新聞などを読めば、機関投資家の先に行く情報が入手できます。

〈Roger's Point〉

格付けが引き上がった場合、株価は上昇し、引き下がった場合、株価は下落する傾向がある

(7) アメリカのNYダウで株価は動く

「NYダウ」とは、アメリカの世界を代表するさまざまな業種の代表的な30銘柄から平均株価をリアルタイムで算出した指数です。

日本では「ダウ平均」、「NYダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。

「NYダウ」の特徴は、30銘柄のみで構成されています。一方、日経平均株価の構成銘柄は225銘柄ですから、いかに銘柄が少ないかが分かります。

構成銘柄は、コカ・コーラの製造、販売を行う「コカコーラ」や、ANAやJAL向けに飛行機の製造を担っている「ボーイング」、ディズニーや、くまのプーさん、アナと雪の女王などの映画製作を手がける「ウォルト ディズニー」、などアメリカを代表する世界の名だたる企業が軒を連ねています。

また、ニューヨーク証券取引全体の時価総額は日本の東証1部全体の約4倍の時価総額を誇っています。

このような巨大企業が名を連ねるアメリカの「NYダウ」は、日本を含め世界中の株価に影響を与えています。ニューヨーク証券取引所の取引終了時間は日本時間の朝6時。つまり、「NYダウ」の影響がそのまま日本の株価にも影響されるわけです。

〈Roger's Point〉

- ・ニューヨークダウは、日本も含め世界中の市場に影響を与える株価指数
- ・世界を代表する30銘柄で算出（コカコーラ、ボーイング、ウォルト ディズニーなど）

(8) 株式分割とは

株式分割とは、1株をいくつかに分割を行い発行済み株式総数を増やすことです。株式分割を行うと株数が増えますがその反面、分割を行った割合に応じて株価は下落していきます。

このため、時価総額が同じ場合、株価は株式分割を行った割合に応じて下落していきます。たとえば、株式分割の割合が1：2の場合は2分の1へ、1：4の場合は4分の1へと下落していくのです。

〈Roger's Point〉

- ・ 株式分割をした割合に応じて株価は下落する
- ・ 1株を細かく分割すること（1：2、1：4など）

（9）自己株式の取得と消却

自己株式の取得とは、企業が一度発行した株式を市場から買い戻すことをいいます。

自己株式の取得を行うことのメリットとして、株主側は流通する株式が減少することから需給が改善され株価の上昇につながります。

一般的に企業の取得する自己株の取得比率が、発行株式総数の3%を超える株数を取得すると発表した場合、株価へのインパクトがあると言われています。企業によっては、10%を超える大型の自己株取得などを実施するケースもあり、需給が改善され株価は大きく上昇するケースもあります。

また、会社側にとって、自己株式の取得を実施ことは企業側にとってもメリットが大きいです。主な理由はこの自社株の取得により株価は上昇しますので、M&A対策にもつながります。よって多くの企業で注目を集めています。

〈Roger's Point〉

- ・ 会社が市場に流通している株式を購入すること
- ・ 市場に流通している株式が減るので株価は上昇する

【第7章】利益がでたらきちんと税金を

(1) 株式で儲けた場合の税金

株の取引口座には、「一般口座」「特定口座（源泉徴収なし）」
「特定口座（源泉徴収あり）」の3つがあります。

一般口座と特定口座（源泉徴収なし）の場合にはサラリーマン
など給与所得のある方は20万以上、専業主婦の方や学生など
の扶養者は38万以上で確定申告を行う必要があります。

実は上記2つの口座について大きな違いは1点しかありません。

それは、確定申告時の「年間取引報告書」を

- 特定口座：年間取引報告書を証券会社が作ってくれる
- 一般口座：年間取引報告書を自分で作成する

、、、の違いです。

年間取引報告書とは証券会社ごとに収入金額（売却額）、取得費などを記入する書類のことで自分で作成する場合には売買履歴を見ながら作成することになり、かなり面倒です。そのため、余程の理由が無い限りは「特定口座」をオススメします。

なお、特定口座にも2種類あります。

- ・ 特定口座（源泉徴収なし）

簡単に確定申告できるように、証券会社が年間取引報告書を準備してくれる。確定申告が必要。

- ・ 特定口座（源泉徴収あり）

簡単に確定申告できるように、証券会社が年間取引報告書を準備してくれる。確定申告しなくてもいい。

株式で利益を出した場合、税金を支払うことになります。

株式の場合は、利益に対して20.315%の税金が課税されます。

内訳は所得税が15.315%、住民税が5%。一般口座で取引している方は、ご自身で年間取引報告書を作成し、確定申告をご自身で行う必要があります。

では、取引した場合に、どれくらいの税金がかかるか計算してみましよう。

■みずほフィナンシャルグループで取引した場合

200円 × 5,000株 = 100万円分 を購入

その後、株価が 200円→210円に上がった時に売却

210円 × 5,000株 = 105万円分 を売却

差し引き、5万円分の売却益を得ることができます。

この、売却益5万円に対して税金が課税されるので

$50,000円 \times 20.315\% = 10,157円$ （小数点切り捨て）が税金、

残りの3万9843円が売却益として手元に残ります。

1度の取引だけなら計算も簡単ですが、問題は儲けが出たり損失がでたりを繰り返すので、取引のすべての集計をしなければならぬのが大変です。

せっかく5万円儲かったのに、次の取引で、3万円の損失を出してしまった場合、 $5万円 - 3万円 = 2万円$ の売却益として、上記の取引と合算し、取引の度に損益を集計し、年間でどれくらいの損益があったか集計し税金を払うことになります。

また、実際には、取引する証券会社によって売買手数料が発生する場合もあるので、さらに計算は大変です。計算が非常にわかりにくいので、簡単に覚えるなら年間の総利益の約20%、5万円の利益だったら1万円の税金が引かれると覚えてください。そして、税金計算と納税は大変なので、特定口座で取引しましょう。

〈Roger's Point〉

- ・利益に対して、税金は20.315%
- ・「一般口座」「特定口座（源泉徴収なし）」「特定口座（源泉徴収あり）」の3種類
- ・初心者には、確定申告の手間が省ける「特定口座」での口座開設がおすすめ

（2）NISAは税金がかからない

NISA（ニーサ）とは、「毎年100万円を上限とする新規購入分を対象に、その配当や譲渡益を最長5年間、非課税にする制度」です。

簡単に言うと、NISA口座で取引し得た利益には、通常20%かかる税金がかからなくなるということになります。このNISAという制度が作られた目的は下記の2点です。

1. 将来への備えとなる資産づくりの促進（家計の安定的な資産形成の支援）

2. 経済成長のために家計の金融資産を有効活用（家計からの成長資金の供給拡大）

要するに、貯金ではなく投資をして資産を増やしましょう、そしてそのお金で経済を成長させようということです。

メリットばかりで、デメリットがないように聞こえるNISAですが、気をつけないとまらない点がいくつかあります。

- ・ NISAで対象となる商品には、制限がある

以下の表のように、証券取引所に上場している株式や、投資信託の値上がり益やその配当金が対象となります。一方、対象外の商品は預金や国債などが対象外となります。

- ・ 5年以内に売却しないと税金はかかる

NISAの非課税期間は5年間。5年間を経過すると、NISA口座で購入した株などは、特定口座や一般口座などの課税口座に移り、

その後の配当金や売買益などは課税されるようになってしまいます。

- ・ 損益通算や3年間の損失繰越が出来ない

通常の口座であれば、損失した場合は3年間にわり損失繰越を行い、翌年に利益がでた場合など相殺できるのですが、NISA口座で取引した銘柄の場合はこれできません。

NISA口座は独立した資産として管理され、儲けがでた場合にはメリットは多いのですが損失がでた場合には、デメリットが発生します。

【第8章】 その他、知っておくべきこと

(1) 日経平均株価とは

日経平均株価は、東京証券取引1部に上場する銘柄のうち、日本を代表する225銘柄を元に算出されています。「トヨタ自動車」、「ソフトバンク」、「NTT」、「シャープ」、「丸紅」など日本を代表する超有力銘柄が名を連ねており、日本を代表する指数です。この日経平均株価は日本経済新聞社が独自に銘柄を選んで決定しています。

日経平均株価のピークは1989年12月の3万8915円です。その当時の東証1部の時価総額は約600兆円程度でした。ちなみに日本中が震撼した2011年3月の東日本大震災のときの日経平均株価の終値は8227円（同年3月11日終値）がバブル崩壊後では最も安い時期で、株式の売買では最も買いが推奨された時期だったのかもしれませんが。

このように、日経平均株価は前日などに比べて現在どれだけ上昇している下落しているのかを示しています。

〈Roger's Point〉

- ・日経平均株価とは、日本を代表する225銘柄の平均株価で、日本の株式市場の代表的な株価指標の一つ

(2) インサイダー取引とは

規制の対象者（会社関係者）が重要事実を知りつつ、その情報が公開される前にその会社の株券などの売買を行うことです。

とはいってもどれが重要事実にあたるのか一般人には分かりません。この重要事実とは、会社の運営、業務または財産に関する情報のことで、具体的には

- ・ 合併・会社の分割
- ・ 株式の分割

- ・ 資本の減少、自己株式の取得
- ・ 新製品や新技術の事業化
- ・ 事業の譲渡、譲り受け
- ・ 業務提携
- ・ 業務の上方修正、下方修正
- ・ 利益の配当
- ・ 業務上で発生した損害
- ・ 訴訟の発生・判決

どが重要事実にあたります。

重要事実の公表について、上場会社の役員などが、重要事実を2つ以上の報道機関（新聞社、通信社、放送事業者）に公開してから、12時間以上の期間が経って初めて公表されたことになるなどの決まりがあります。

いくつか重要事実の公表されたことになる基準について挙げます。・

- ・ 適時開示情報閲覧サービス（TD-net）

- ・ 2つ以上の報道機関に公開して12時間経過する
- ・ 金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）で閲覧可能となること

ちなみに会社関係者とは、その会社の役員や、社員、パートタイマー、アルバイトなどが該当します。このインサイダー取引は、多い年で数十件程度摘発されています。インサイダー取引は金融商品取引法という法律で固く禁じられているのです。

〈Roger's Point〉

- ・ 規制の対象者（会社関係者）が株価に影響を与えるような重要事実を知りつつ、その情報が公開される前にその会社の株券などを売買すること
- ・ 会社の関係者とはその会社の役員や、社員、パートタイマー、アルバイトなど

(3) 外国人投資家とは

外国人投資家とは、現在日本の取引市場で最も影響力を持った勢力となっています。この外国人投資の東証全体の売買代金全体に占める14年6月の売買シェアは60.5%です。

このため、投資を行うのにあたって外国人投資家の動向に注目が集まっています。

この外国人投資家は、海外の年金基金、投資信託、保険会社、ヘッジファンドなどと言われており、主な投資目的はキャピタルゲインを狙った短期の取引が傾向として強いようです。

実際に外国人投資家が売り越した、買い越したなどのニュースは日経平均株価などにも大きく影響します。

〈Roger's Point〉

- ・外国人の売買シェアは東証の約6割を握る（例、年金基金、投資信託、保険会社、ヘッジファンドなど）

おわりに

ここまでお読み頂きましたが、いかがでしたか？

株式投資がそれほど難しいものではなく、あなたにとってどれだけのメリットがあるのかをご理解頂けたかと思います。

この株式投資入門完全マニュアルを理解し、自分のものにして頂くことが億万長者になるための第一歩です。

これから、私の持っている知識や経験全てを駆使して億万長者になるノウハウをあなたにお伝えしていきます。

あなたの人生を最短で最高のものにします。私を信じてついて来てください。絶対に後悔はさせません。

あなたの世界を変えてみせます。

ロジャー堀